



## 靈氣の発祥から現在

靈氣の創始者を臼井甕男(1865 - 1926)といい、伝説的に語り伝えられることが多く、詳しいことは伝えられておりませんが、幼時から苦学しながら勉学に励み実力はあるものの出世には不運でしばしば生活に困窮し、それにもひるまらずますます鍛錬に励んでいたそうです。

やがて「人生の目的は何か?」という大命題を研究されるようになり、「それは、安心立命にある。」という結論に到達しました。安心立命とは、辞書に「天命を知って心を安んじ、物事にこだわらない事」とあります。

次に「安心立命の境地にいかにして到達するか」という真の悟りを求めて、修行をされました。約三年間の修行をもつても悟りが得られず、死の覚悟を決めて京都の鞍馬寺に竜り断食を開始されました。それは、大正11年3月のことでした。そして断食21日目の真夜中ごろに、脳の中心部に落雷を受けたような激的な衝撃を感じ、そのまま意識不明の状態に陥ったのでした。しばらくの後、ふと気が付くと夜は白々と明け始め、その目覚めは今まで感じたことのない、実に心身爽快な気分に満ち満ちていたといわれています。先ほどの激烈な経験は、強烈な宇宙靈氣が心身を貫き、宇宙の靈氣と体内の靈氣が共鳴し、「宇宙即我」「我即宇宙」の一体感を達成されたのでした。

喜び勇んで山を降りる途中、石につまずいて足の爪がはがれ、思わず手を当てたところ、一瞬にして痛みが去り即座に治癒してしまいました。当初、早速その能力を用いて貧しい人たちの治療に励みましたが、治癒した人がまた戻ってくるということとを繰り返すうちに身体を癒すだけでは足りず、心も癒さなければならぬことを痛感させられました。この経験から研究を重ね、人々を救済する法やこの能力を多数の人に伝授する方法等を確立していったのでした。

臼井氏はこれを「宇宙の靈氣に基づいて心身を改善する方法」として、大正11年4月、東京で臼井靈氣療法学会を創設し指導・

靈氣を人生の友に、  
五戒が示す道をたどり、  
健やかで楽しい人生を！

若葉マークとして、靈氣のパイプの流れを阻害したり滞らせたりしないように、エネルギーが全開で流れるよう努めましょう。

21 日間は浄化期間として、好転反応が起こる場合があることを忘れないでください。靈氣シャワーを毎日実践しましょう。

レイキⅡに興味のある方は、最短で21日後に伝授を行なえます。次なるステップは、シンボルとマントラを使い、パワフルに幅広く時空を超えるレイキ療法が可能になります。

あなたの靈氣体験をシェアしていただけると、嬉しいですね！それから、実践を行なう上で疑問が生じた場合など、どんなことでも、いつでもコンタクトしてください。サポートします。

とにもかくにも、気軽に毎日靈氣と親しみ、楽しんで自ら精進してくださいねー！

今日は長いこと、お疲れ様でした。  
ご縁を頂いたことに感謝して、合掌。

年 月 日